

子どもイベント実施

～馬とのふれあい体験～

代表者 畝部響子（初等教育教員養成課程理科専攻・2年）他 学生4名

1. 活動概要

本企画は、馬術部員が将来社会で活躍できるスキルを身につけること並びに馬事文化の普及を目的として地域貢献活動となる、「馬と子どもの触れ合いイベント」である。実施したイベントの内容は、乗馬体験、飼料作り、エサやり体験、プラバン作り、障害コースでの障害物競争である。

乗馬体験での馬の負担を考慮し、参加対象者は5歳から12歳までとし、午前の部、午後の部と分けた開催をしなかった場合は、定員を10人とした。また、馬と触れ合う際の安全管理のため、馬術部監督や教職経験のあるOB、OGの皆様に立会いただき、イベントを実施した。

各種体験の説明においては、画用紙を使用し、クイズ形式にしたりする、障害物競走での対格差を考慮したグループ分けなど、子どもたちに分かりやすく、楽しめるように工夫をした。



写真①：ニンジンのあげ方を説明している様子

乗馬体験では特に安全対策に気を配り、鞍に持ち手を付け、ヘルメット、グローブ、エアバックの着用をし、1頭につき2人で馬を曳いて気を付けた。

馬に乗ることが怖くなってしまった子どもは部員と一緒に馬を曳くなど安全に気を付けながら対応した。

プラバン作りでは、参加記念品として、馬の下書きに子どもたちが色を塗り模様を描いた。

障害物競走ではそれぞれ低学年、高学年のグループに分けて競走を行い、参加景品としてお菓子の配布を行った。



写真②：障害物競走のようす

新型コロナウイルス感染症対策においては、検温やマスクの着用、アルコール消毒、屋外での実施、募集定員を少なく設定し、午前と午後の部に分けることで、「三密」を防ぐ行いをとった。

2. 実施状況

【令和3年2月】

○第3回ふれあい&乗馬体験のため参加申し込みを使用する応募フォームを Google フォームにて作成した。

○第3回ふれあい&乗馬体験のチラシを作成し、学内での掲示、馬術部が運営する Twitter、Instagram での告知を行った。

○第3回ふれあい&乗馬体験で使用するプラバン、名簿を作成した。

【令和3年3月26日】

○馬と人双方の安全のため、馬場にレーキをかけた。

○第3回ふれあい&乗馬体験

午前の部 参加者2名 来場者数3名

午後の部 参加者7名 来場者数11名

【令和3年7月】

○第4回ふれあい&乗馬体験のため参加申し込みを使用する応募フォームを Google フォームにて作成した。

○第4回ふれあい&乗馬体験のチラシを作成し、学内での掲示、富士松北小学校と、トワイライトスクールへの配布を行った。

○馬術部が運営する Twitter、Instagram での告知を行った。

○第4回ふれあい&乗馬体験で使用するプラバン、名簿を作成した。



写真③：作成したチラシ

【令和3年8月7日】

○馬と人双方の安全のため、馬場にレーキをかけた。

○第4回ふれあい&乗馬体験

参加者数 7人 来場者数 13人



写真④：乗馬体験の様子

【令和3年10月】

○第5回ふれあい&乗馬体験のため参加申し込みを使用する応募フォームを Google フォームにて作成した。

○第5回ふれあい&乗馬体験のチラシを作成し、学内での掲示、富士松北小学校と、富士松東小学校、富士松南小学校への配布を行った。

○馬術部が運営する Twitter、Instagram での告知を行った。

○第4回ふれあい&乗馬体験で使用するプラバン、名簿を作成した。

【令和3年10月23日】

中間発表に使用するパワーポイントを作成し、発表を行った。

【令和3年11月13日】

○馬と人双方の安全のため、馬場にレーキをかけた。

○第5回ふれあい&乗馬体験

参加者 11名 来場者数 20名

【令和4年2月】

最終報告書を作成した。

3. 成果

本企画、イベントを行う中で、回数を重ねていくごとに子どもたちへの声のかけ方や、説明の声の速度や注目の集め方など新たな発見やそれを活かした工夫を考え、実行していくことができ、学生も成長することが出来た。

昨年度イベントを行った際は、11月、12月と寒い季節に行ったため、開催を午前と午後に分けて開催することができたが、今年度は1年を通して行ったため、熱中症対策として午後の暑い時間を避けるなど臨機応変に対応した。また、小学校の長期休暇の場合にトワイライトスクールといった小学校以外の場所に目を向けチラシ配りを行うなどさらにいろいろな方とのつながりも得ることが出来た。

他にも、エサやり体験ではにんじんのあげ方を説明しながら動きを一緒に行うことで、集中していなかった子どももより集中することが出来ることが分かった。

このように、部員は子どもとの関わり方も学び、とても実のある体験となった。

立ち会ってくださった監督やOBは、元校長先生の方や現職の教員の方達であり、声のかけ方なども学べ、すぐに活かしたいと感じるものばかりで、大変勉強になった。

イベント終了後に保護者に行ったアンケート調査では、9割以上の参加者がまた参加したいと回答をいただき、イベントは大盛況であったといえる。

	とても満足	満足	普通	やや不満	不満
内容	100	0	0	0	0
日時	100	0	0	0	0
部員の対応	100	0	0	0	0
会場の設備	96	4	0	0	0
申し込み	78	4	8	0	0

表①：満足度のアンケート結果

また参加したいか？	
参加したい	96%
どちらともいえない	4%
参加しない	0%

表②：アンケートの結果

4. 今後の展望

イベント当日では、子どもたちはすぐに馬のほうへ駆け寄っていく姿や、逆に思ったより大きかったのが怖かったのか少し離れたところから恐る恐る近づく姿などいろいろな反応を見られ、子どもたちの目線に立つことで見えてくる課題もあり、またさらに工夫してより良い内容を考えていきたい。

また、参加してくれた子どもたちの中でも「もうこれで3回目！」などの声があり、今回実行した、馬場の実際に馬が使う障害物競争や、OGの方にしていただいた障害飛越パフォーマンスなど、もっと何度来ても楽しめ、「もう一度参加したい」と思ってもらえるよう、さらにいろいろな内容を考えて行きたい。

Google フォームでの申し込みについてうまく応募ができなかったというメールをいただいた。そういったことの無いようさらに分かりやすい方法の説明なども考えていきたい。

また、教職を目指す学生が多いこの大学で子どもとふれあう機会を増やし、現場ですぐに活かせるような学びをより多く経験できるようにしていく。

5. 決算

予算：105,000 円, 残額：632 円

費目	支出額
○ 備品 ・ (支出なし)	0 円
小 計	0 円
○ 消耗品	
ポスカセット	3,938 円
ポスカ細	660 円
馬用虫よけ	21,120 円
封筒	1,345 円
コピー用紙	1,700 円
プラバン	7,700 円
キーボールチェーン	1,545 円
木材、丸杭	6,190 円
馬用プロテクター	18,800 円
ボアゼッケン	7,560 円
てっぴ	660 円
サドルストラップ	4,960 円
草切ハサミ	1,790 円
エアバッグボンベ	26,400 円
小 計	104,368 円
○ 旅費 (支出なし)	0 円
小 計	0 円
○ 謝金 (支出なし)	0 円
小 計	0 円
○ その他 (支出なし)	0 円
小 計	0 円
合 計	104,368 円

6. メンバー

番号	学年	氏名	所属
1	2	畝部響子	初等・理科
2	2	鈴木拓海	中等・社会
3	2	瀧澤陽希	中等・社会
4	3	平田瑞貴	中等・理科
5	1	今西野乃佳	義務国語